

**8**  
Rd.

**NOV 2013**

平成25年11月30日発行

**RACING**  
**PRESS**  
*apan*

**SUPER GT ROUND 8**  
**MOTEGI**



Super GT  
Series 2013

GT

Round 8  
MOTEGI

11/2-3



Text  
鳥村元子

Editor  
吉川綱恵

Photo  
鉄谷康博  
加藤智充  
中村住史  
原 勝弘  
神原寿雄

Cover Photo  
鉄谷康博



No.6 号車 ENEOS SUSTINA SC430 の大嶋和也がポールポジションから逃げ、  
国本雄資が独走で今季初勝利。




GT500



### GT500 決勝結果

優勝	No.6	ENEOS SUSTINA SC430	大嶋和也 / 国本雄資
2位	1No.7	KEIHIN HSV-010	塚越広大 / 金石年弘
3位	No.38	ZENT CERUMO SC430	立川祐路 / 平手晃平
4位	No.39	DENSO KOBELCO SC430	脇坂寿一 / 石浦宏明
5位	No.36	PETRONAS TOM'S SC430	中嶋一貴 / ジェームス・ロシター
6位	No.37	KeepPer TOM'S SC430	伊藤大輔 / アンдреア・カルダレッリ
7位	No.18	ウイダー モデューロ HSV-010	山本尚貴 / フレデリック・マコヴィツキ
8位	No.23	MOTUL AUTECH GT-R	柳田真孝 / ロニー・クインタレッリ
9位	No.24	D'station ADVAN GT-R	安田裕信 / ミハエル・クルム
10位	No.19	WedsSport ADVAN SC430	荒 聖治 / アンдре・クート

 **TWIN RING MOTEGI**



GT500



No.11 号車 GAINER DIXCEL SLS が開幕戦以来となる2勝目。  
チャンピオンはNo.16 号車2位で MUGEN CR-Z GT が獲得。



GT300



2nd



3rd



ツインリンクもてぎ



TWIN RING MOTEGI



GT300 決勝結果

優勝	No.11	GAINER DIXCEL SLS	平中克幸 / ビヨンプールドハイム
2位	No.16	MUGEN CR-Z GT	武藤英紀 / 中山友貴
3位	No.61	SUBARU BRZ R&D SPORT	山野哲也 / 佐々木孝太
4位	No.4	GSR 初音ミク BMW	谷口信輝 / 片岡龍也
5位	No.88	マネバ ランボルギーニ GT3	織戸 学 / 青木孝行
6位	No.62	LEON SLS	黒澤治樹 / 黒澤 翼
7位	No.52	OKINAWA-IMP SLS	竹内浩典 / 土屋武士
8位	No.87	ラ・セーヌ ランボルギーニ GT3	山内英輝 / 吉本大樹
9位	No.3	S Road NDDP GT-R	星野一樹 / 佐々木大樹
10位	No.0	ENDLESS TAISAN PORSCHE	峰尾恭輔 / 横溝直輝



No.38 LEXUS TEAM ZENT CERUMO

# 2013 SUPER GT DRIVER&TEAM CHAMPION



No.16 TEAM MUGEN



Y.TACHIKAWA/K.HIRATE



H.MUTOH/Y.NAKAYAMA

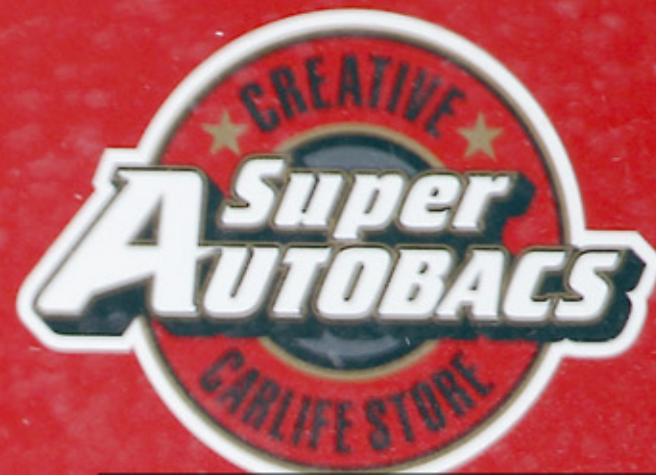
THE WINNER

No.6 ENEOS SUSTINA SC430

CLOSE-UP

Text by Motoko Shimamura

Photo: Yasuhiro Tetsutani



## 最終戦でも新たな勝者が誕生 新コンビが勢いを味方につけて ポール・トゥ・ウィンを達成

迎えた今シーズン最終戦。未だ果たせぬシーズン初勝利、あるいはシリーズチャンピオン獲得などのそれぞれの目標を掲げて挑んだもてぎの戦いは、現行車両における公式戦ラストレースということもあり、いつも以上にヒートアップしそうな気配だったが、その中から頭ひとつ抜け出したのが、LEXUS TEAM LeMans ENEOSの6号車ENEOS SUSTINA SC430だった。

ノーウェイトのガチンコ勝負となる最終戦、6号車は今シーズンから新たにコンビを組んだ大嶋和也と国本雄資が揃って活躍。僅差のタイムアタックの中でトップに躍り出ると、その勢いは決勝レースでも不動のものとなり、序盤から逃げるレースを展開することとなった。

後方のライバル達はシリーズタイトルを見据えてのレースを繰り返していたことから、6号車は異なる戦略を完遂。多くのトップチームが周回数の半分を前に早めのルーティンワークを実施し、つば迫り合いを見せていたのだが、6号車では大幅にタイミングを後半にずらしてピットインを実施。トップを死守することに成功する。

その後も6号車のトップは安泰。2位以下の争いが引き続き目まぐるしく入れ替わる中、見事なマイペースで周回を重ね、最終戦でチームにシーズン初勝利をプレゼントした。チームドライバーの先輩格である大嶋は2009年にGT500へとステップアップ。2011年から6号車をドライブ、昨シーズンにはチームに9年ぶりとなるGTでの勝利をプレゼントしているが、今年はルーキーの国本との新コンビで勝利を実現させた。もちろん、国本にとっては、GT500における初勝利を果たすことになった。



Special Eye

MUGEN CR-Z POWER  
2013  
P1  
CHAMPION

朝専用缶コーヒー  
ワンダモ



AUTOBACS

AUTO

ACS

AUTO

BACS

W

Photo by: Tomomitsu Kato